



東京都の「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業」の概要や構築の経緯、これからの方向性などをお話いただきます。

他にも、教育現場に適したゼロトラスト・フルクラウド環境構築や教育データ利活用など、さまざまな展示をします。

ぜひ JMC ブースにお越しください。

#### 【JMC 出展概要】

展示会名：第 15 回 EDIX（教育総合展）東京 2024

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟 1 階

開催日時：2024 年 5 月 8 日（水）～10 日（金）

ブース No：株式会社 JMC 16-62

<https://www.jmc-edu.co.jp/lp/edix2024/>

#### 【東京都様 講演概要】

5 月 8 日（水）11：30～12：00 JMC ブース

東京都教育庁総務部 デジタル推進課 デジタル企画担当課長 江川 徹 様

#### 【申込 URL】

<https://www.edix-expo.jp/tokyo/ja-jp/register.html?code=1002434285267748-HSZ>

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2024 年 4 月 5 日調査）

☆★ （1）紛失・置き忘れ：9 件 （2）誤公開：2 件 （3）誤送信：2 件  
（4）誤配布：1 件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2024 年 3 月 13 日～2024 年 4 月 4 日に合計 14 件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

#### （1）紛失・置き忘れ

神奈川県 2024 年 3 月 15 日 県立中学校 書類 1 件

茨城県 2024 年 3 月 21 日 県立高等学校 書類 21 件

大阪府 2024 年 3 月 22 日 県立高等学校 書類 26 件

兵庫県 2024 年 3 月 28 日 県立不明 書類 80 件



USB メモリに代表される可搬式記憶媒体の行方不明事案などは後を絶たない実情があります。再発防止対策は、複数人による確認をはじめとする人的対策に頼る報告にとどまっていることが大半ではないでしょうか。

文部科学省は、令和 5 年 3 月に「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」を公開し、各学校設置者、学校に対して校務 DX の推進について働きかけを行ってきました。

また、令和 6 年 1 月には、教育情報セキュリティポリシーガイドラインの 4 回目の改訂を行い、学校のネットワーク統合を実現し、パブリッククラウドの適切な利用に必要なセキュリティ対策を従来以上に具体的かつ分かりやすく示しています。

教育情報セキュリティポリシーガイドラインに沿った、ICT 基盤の更新を着実に実施しておれば、冒頭に紹介したような事案は発生せず、再発防止策についてもより現実的かつ実効性のあるものとなるのではないのでしょうか。

各学校設置者においては、直ちに教育情報セキュリティポリシーガイドラインを参照し、学校の ICT 基盤を整え、利便性とセキュリティを両立し、かつコストメリットも享受できる環境に移行することが強く求められています。

いうまでもなく、学校設置者は、児童・生徒、教職員、保護者などといった学校関係者が安全に安心して教育活動を営む環境を整えることが重要な役割です。

すでに十分な先行事例があります。例えば、ファースト GIGA において全国で唯一、県域統一ドメイン、県域共同調達、県域一括運用支援を実現している奈良県域や Google Workspace for Education と関連サービスによりネットワーク統合と Chromebook による教職員端末の 1 台化をいち早く実現した奈良市があります。

令和 6 年度には、多数の自治体が奈良県や奈良市の取り組みを参考とした児童・生徒、教職員、保護者などに向き合った学校環境の実現が予想されます。

一部で見られるような近隣地域や同規模自治体の状況を意識するあまり対応を遅らせるといった判断は、地域の子供たちや学校教職員に対して大きな影響を与えてしまい、結果、近い将来、大きな差となって現れることでしょう。

何かを入れて解決するのではなく、何を解決するのか。子供たちに向けて、何を整え、どのような支援をしていくのか。いま、学校設置者は、あたりまえのことをしっかりと実現することが求められています。

#### ◆ 執筆者プロフィール ◆

谷 正友

大手 SIer を経て、2013 年より奈良市役所。

奈良県域 GIGA スクール構想推進協議会調整部会会長、デジタル庁デジタル推進委員、文部科学省学校 DX 戦略アドバイザーなどを務める。

現在、一般社団法人教育 ICT 政策支援機構代表理事。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ **【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」** を公開 ◆◆……

ISEN では、昨年 11 月に「令和 4 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 2 版）を Web 公開しました。

>> [https://school-security.jp/leak\\_all/](https://school-security.jp/leak_all/)

---

< 事務局 >

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

---

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が  
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、  
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>